

1. 事業細目	漁場研究調査	予算額	350 千円
2. 研究名	養殖環境指導	予算区分	県単
3. 研究期間	46年度～ 年度		
4. 担当者	前河		

5. 目的 水産生物の増養殖環境等に関する調査指導

6. 方法

- (1) 養殖用水としての水底質調査……………一般水底質、有害物質等
- (2) 水産生物の異常へい死事故発生調査……………一般水底質、有害物質等
- (3) その他水産生物の増養殖に関する指導……………水質検査等

7. 結果の概要

- (1) 養殖用水としての水底質調査
 - ① 魚類養殖用水に関するもの……（アユ、コイ等）25件
 - ② 貝類養殖用水に関するもの……（イケチョウ貝等）45件
 - (2) 水産生物の異常へい死事故発生調査
 - ① 魚類へい死事故に関するもの……河川、内湖、養殖池（アユ、コイ、エビ等）10件
 - ② 貝類へい死事故に関するもの……内湖（イケチョウ貝）3件
 - (3) その他水産生物の増養殖に関する指導
 - ① 養殖用水の水質浄化方法について……9件
 - ② 水質検査及び解析について……5件
 - ③ その他養殖用水に関するもの……33件
- (1) 養殖用水の調査及び検査を実施し、結果を基に適切な指導を行った。
- (2) 現場調査及び検査を実施し、結果を基に再発防止のための適切な指導を行った。
- (3) 調査及び検査ならびに参考文献を基に適切な指導を行った。

8. 主要成果の具体的数値

検査結果の一例

試料受入年月日	昭和62年12月 1 日				
検査の目的	真珠貝の養殖用水の選定について				
試料の種類	溜池の水（兵庫県淡路島）				
水質検査結果					
項 目	A	B	C	D	E
臭 気	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭
pH	7.25	7.18	7.31	7.36	7.38
RpH	7.34	7.36	7.44	7.50	7.45
EC μ s/cm	220	210	170	195	170
COD mg/ℓ	13.3	14.2	9.1	9.8	11.7
BOD mg/ℓ	3.5	4.0	3.7	3.8	4.5
SS mg/ℓ	33.0	43.8	11.4	15.5	25.7
IL %	27.3	16.6	42.2	35.5	37.7
NH ₄ - N mg/ℓ	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02
NO ₂ - N mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	0.005	<0.001
NO ₃ - N mg/ℓ	0.03	0.03	0.03	0.05	0.03
DIN mg/ℓ	0.07	0.06	0.06	0.09	0.05
Or - N mg/ℓ	1.23	0.89	0.65	0.95	0.86
T - N mg/ℓ	1.30	0.95	0.71	1.04	0.91
PO ₄ - P mg/ℓ	0.016	0.014	0.011	0.010	0.011
Or - P mg/ℓ	0.033	0.016	0.012	0.017	0.020
T - P mg/ℓ	0.049	0.030	0.023	0.027	0.031
Ca mg/ℓ	9.6	11.4	8.7	17.4	9.5
C ℓ mg/ℓ	30.1	28.8	24.0	24.5	24.0
chl - a μ g/ℓ	39.4	31.6	21.6	36.7	43.4

試料受入年月日	昭和63年 2 月25 日				
検査の目的	アユ養殖用水としての適否				
試料の種類	試験地下水（深度約70m）				
水質検査結果					
水質検査					
項 目			項 目		
水 色	無色透明		PO ₄ - P	mg/ℓ	0.129
pH	6.92		C ℓ	mg/ℓ	4.8
RpH	7.23		T - Fe	mg/ℓ	2.74
EC	μ s/cm	62	S - Fe	mg/ℓ	2.55
COD	mg/ℓ	1.10	T - Mn	mg/ℓ	0.63
SS	mg/ℓ	<0.1	S - Mn	mg/ℓ	0.61
NH ₄ - N	mg/ℓ	0.14	H ₂ S	mg/ℓ	ND
NO ₂ - N	mg/ℓ	0.001	水 温	℃	14
NO ₃ - N	mg/ℓ	0.20			
生物試験					
供試生物		ヒウオ(3.6cm) 3尾			
確認日時		生死の有無	確認日時		生死の有無
2月26日	9:00	(開始)	27日	10:00	無
	12:00	無		13:00	無
	18:00	無	29日	9:00	2尾死
27日	8:00	1尾死			

9. 今後の問題点

環境汚染防止の為、各種汚染物質の発生源に対し、負荷削減のための対策を講じる必要がある。

10. 次年度の具体的計画